

たかひこ通信

皆さんのご意見・ご要望を電話・FaX・メールでお寄せ下さい。

部内資料 たかひこ通信 No. 55
2015/11/27 〒399-8601 長野県北安曇郡池田町大字池田3089-4
薄井孝彦 Tel・Fax 0261-62-5093
mail: peacea@peach.plala.or.jp
http://web-ariakesan.com/

“町民の皆さんと議会との意見交換会” が開かれる 多くの町民要望寄せられる

11月5日から25日まで町内5会場で“町民の皆さんと議会との意見交換会”が開かれました。

今年希望する自治会へ向いての意見交換会としました。そのため昨年より多くの方が参加されました。

左記のような多くの要望が出され、町民の皆さんの声をお聴きする重要性を改めて感じました。

○災害への対策強化を。
(防災訓練、災害ごとの避難場所の明確化を)

○町に高規格道路のインター設置を。

○「ツルヤ」ができて地域交流センター東に買い物の場を。

○各地区公民館建て替えに町補助金の増額を。

○八幡神社の山車・彫刻を町の活性化に活かす施策を。(町文化財への指定など)

○町なかのクラス糞対策を。

○美術館へ高齢の方が行かれる施策を。(イベント時の臨時バス等)

議会では出された要望を整理し、町に対策を求めています。私も一般質問、委員会審議などで実現に向け働きかけていきたいと思っています。



写真：町民の皆さんと議会との意見交換会風景

各種研修に行ってきた 今後の議会活動に いかします

①小布施町の「町づくり・飯綱町議会の「議会改革」研修

11月9日、共産党大北議員団の研修で小布施町飯綱町へ行き、地元共産党議員から次のような説明を受けました。

◎小布施町の町づくり

○町内業者を中心に行政町民が一体となり町並み改善などの町づくりが行われた。
○町の文化資源(葛飾北斎・高井鴻山など)や

民家の庭をいかした散策コースが作られた。



《写真》小布施町の観光施設にかかわる民話を紙芝居のように紹介する立札が町内各地にある。良い活動だと思いました。心地良い小布施の散策でした。

◎飯綱町議会の議会改革

飯綱町議会は次のような画期的な議会活動を行っています。

○議会としての「予算・政策要望書」の提出

○町民が質問者として登場する模擬議会の開催

○夜間・休日議会の開催

○議会と町民12人の政策サポーターによる政策研究・政策提言

《感想》飯綱町議会の活動はすごいと思います。

町議会でも12月に休日議会を行います。町に合った議会改革を追求していきたいと思っています。

②「地方財政」研修

11月12日・13日、地方議員研究会主催の地方財政セミナーが東京で開催。同志社大学教授の森裕之教授の次のような話を聞きました。

○町民福祉に役立つ基盤整備は必要。但し、財政危機にならぬよう計画的に行うこと。

○臨時財政対策債(地方交付税の代替えとして国が認める町の借金)は後年度、国が借金分を地方交付税でみている。しかし、国は交付税の他項目を減らすので、交付税総額は増えない。

○人口減少時代に入り、賢い縮小が求められている。行政効率の観点と地域住民の暮らしが維持運営できる観点の両面から検討すべきである。

○国は地方交税の削減を検討している。

《感想》原則的で柔軟に対応する先生の考えに引き込まれました。

③町議会研修について

11月19日・20日、町議会の議員研修で穴水町と(株)能登ワインを訪問し、能登ワインについて次のような研修しました。

○穴水町は能登空港開港記念の特産品として能登ワインを開発した。

○当初予定していた民間会社のワイナリー建設、撤退にもかかわらず、町民・町・JAなどの共同出資の第三セクターでワイナリーに取り組んだ。

○ワイナリーの建設費、生産者への補助(苗木代)などは穴水町が支援した。

○能登の風土(多湿)にあつたブドウの種類、栽培方法を開発した。

○地場産ブドウを利用した生ワインの醸造に成功した。国産ワインコンクールで金賞受賞など品質を確保し、売り上げも順調で黒字経営となっている。

《感想》石川県民の知恵と努力により成功したことに関心しました。

池田町でのワイナリー建設も綿密な計画と努力が必要であると思いました。



写真：訪問した穴水町の(株)能登ワイン